

# SLyDIF<sub>I</sub> でらくらくスライド作成

monaqa

2019 年 8 月 3 日

はじめに

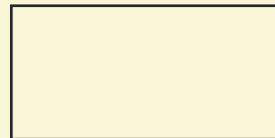
# SLyDIF<sub>I</sub>: SATySF<sub>I</sub> のスライド作成用パッケージ

---

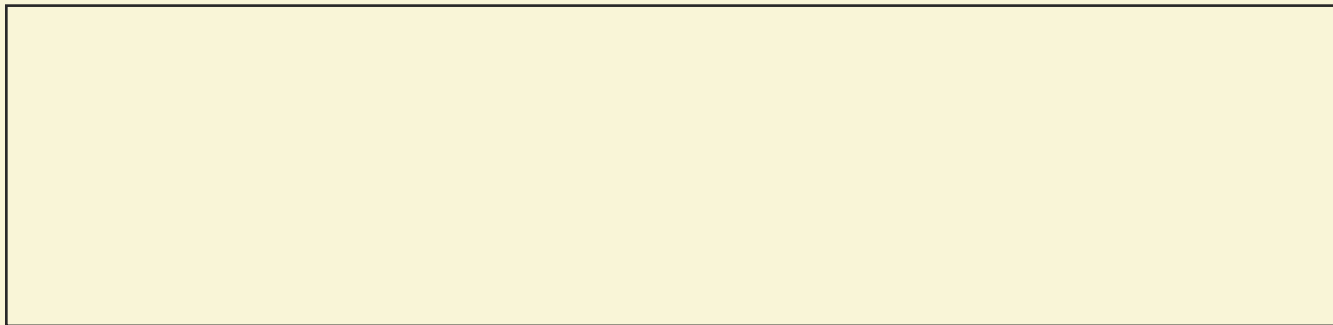
- ◆ **SATySF<sub>I</sub>** ([https://github.com/gfngfn/SATySF\\_i](https://github.com/gfngfn/SATySF_i))
  - ▶ 静的型付き関数型言語ベースの新たな組版処理システム
  - ▶ 普通の文書作成時にはそこまで関数型言語を意識しなくてよい
  - ▶ パッケージをカスタマイズする際の構文は OCaml 風
- ◆ **SLyDIF<sub>I</sub>** (<https://github.com/monaqa/slydifi>)
  - ▶ SATySF<sub>I</sub> でスライドを作成することができる
  - ▶ 実は既に先駆者がいる ([Steamer: Slide Presentation in SATySF\\_i](#))
    - Steamer とは page break 周りの実装を少しばかり変えている



いろんな画像が貼れる．JPEG と PDF に対応している他，  
DummyBox を用いてダミー画像を貼ることも出来る．



- ◆ `\insert-image`: 本文中に画像を貼る．
- ◆ `\fig-abs-pos`: 絶対座標を指定して画像を貼る．
- ◆ `\fig-right`: コマンド挿入箇所の右端に画像を貼る．



# 機能一覧

# 演算

---